

子育て広場、ママに人気

仲間と支え合おう

86.5.13 取材
富田林の「ふらっと」

子どもの夜泣きに悩み、育児が忙しくてお茶をする時間もないなど、子育て奮闘中のお母さんにホッと一息ついてもらおうと、富田林市寺池台1丁目のNPO法人「ふらっとスペース金剛」が運営する子育て支援の広場が人気だ。14日の母の日を前に、訪れるお母さんたちに、人気の秘密や子育ての本音を聞いた。

同NPO代表理事の岡本聡子さんは2児の母。夫は転勤族で、毎日子どもとだけ向き合い、夜泣きで眠れない日々を引きこもりになった。4年前、市の子育て講習会で同じ悩みを持つ仲間と出会った。「自分1人だと思っていたらそうじゃなかった。虐待などで苦しんでいる母親を支える場所が必要なんだ」と思った。

03年に仲間10人と「ふらっとスペース金剛」をつくり、借家を改装して同じ名前の「広場」を5月にオープン。今では毎月10組ほどの親子が遊びに来る。母親同士が話し込んでいる間、子どもの面倒をみるのは、登録している子育て経験のある

地元主婦や学生ボランティアらだ。昨年8月には同市の子育て支援事業の一つに認められた。家賃や人件費などは当初、スタッフが出していたが、現在は年間490万円の市補助金で賄う。

集まる母親は市内のほか堺市などから電車で行く人も。ここに来る理由を聴くと。

「子育てはお茶する時間もないね」

「そうそう、トイレもいけない。子どもがついてくるから、抱きかかえたまま便座に座ってる」

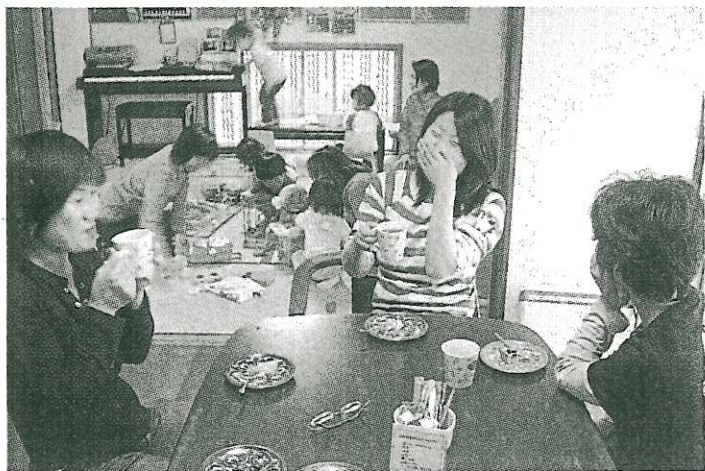
「食事は料理を作りつつ、立ったまま済ましてるし」

「ここで久しぶりに大人としゃべった、と話すお母さんもいた」

「子どももここに来たいってねだるんよ」

「遊ぶ友達が見つからないからじゃない。近所の公園も、暑いと誰もいないし」

岡本さんは「ふらっと」は、いつでも訪ねられる「フラット」と母親



と対等な関係『フラット』をかけた。子育ての楽しさもしんどさも、互いに支え合う関係を目指

「ふらっとスペース金剛」では、母親がお茶している間、スタッフが子どもたちの保育をする「富田林市寺池台1丁目欲しい」と話す。

オープン時間は、毎週月～土曜（祝日も含む）の午前10時～午後1時の午前の部と同一～4時の午後の部の2部制。月曜午後は大型紙芝居などの読み聞かせ、水曜午後はビーズ作りなどの様々な講習がある。第4木曜は専門のカウンセラーが子育て相談に応じる（要予約）。いずれも保育つき。問い合わせは072-1・29・5227へ。